

商工会 ExpressNews

3月増刊号

明日3月6日は二十四節気の「啓蟄」 春本番がすぐそこまで来ています♪



低下し続ける完全失業率 ~ 労働力調査2018年1月分 (3月2日公表) より~

	年平均			月次 (季節調整値)			
	2015年	2016年	2017年	2017年10月	11月	12月	2018年1月
完全失業率	3.4%	3.1%	2.8%	2.8%	2.7%	2.7%	2.4%

3月2日に公表された、本年1月の完全失業率 (季節調整値) は**2.4%**、前月に比べ**0.3ポイント**の低下となり、表でも示されているとおり2015年から低下し続けています。また完全失業者数は159万人、前年同月に比べ38万人減少で92か月連続の減少となっています。※完全雇用状態が継続しています。

雇用者数は5880万人で前年同月に比べ87万人の増加で61か月連続の増加となっています。雇用者数が増加し失業者数が減少していることで、統計にも雇用環境の厳しさが表れていると言えそうです。

働き方支援で「がん復職」↑

人手不足が深刻となり、企業にとっては病気と闘う従業員も働き続けられる環境づくりは急務です。特に生存率が上がり「長く付き合う病気」となったがんの場合、3人に1人が働く世代で治療と仕事の両立は切実な問題となっています。企業にとっても大切な従業員を病気で失うことは大きな痛手となるので、がんを治療しながら働く社員を支援する制度の導入を検討してみたいはいかがでしょうか。

支援例	内容
がんと診断された場合のガイドブック作成	「何をどうしたらいいか」の不安に答えるため、社内の支援制度、国や自治体の制度や医療機関の情報をまとめる。
勤務時間の短縮	「就業時間の8割勤務」といった上限設定や、短時間勤務の拡充
時間単位での有給休暇	通院での抗がん剤治療など数時間だけ休みたいニーズに応える
治療に専念するための休暇拡充	通常の有給休暇とは別に、治療通院するための治療休暇を設ける
有給休暇の積み立て	社員全員で未消化の有給休暇を積み立て、必要な社員にプレゼントできる
通勤時間の短縮	通勤の負担を軽減するため、本人が希望すれば通勤しやすい拠点へ配置転換
働き方の選択肢用意	時差出勤、在宅勤務など働き方を選べる
家族への支援	治療中の社員だけでなく、家族も含め産業医や人事スタッフがサポート
高度先進医療費の会社負担	治療で高度先進医療が必要になった場合に備え、会社が保険料を負担

♥ 結婚相手は「3優」がいいな！ ♥

- ①家事・育児を積極的にしてくれる優しいイクメン
- ②私だけに優しい (浮気しない)
- ③家計に優しい節約家、

このほどJCBが全国の20~39歳の働く女性1,000人に対し、理想の結婚相手を調査で、上位を占めた項目「3優」です。かつて理想の結婚相手といえば、高収入・高学歴・高身長を表す「3高」という言葉が流行しましたが、今どきの若い女性にとって「3高」はもはや過去の話のようです。

この結果、若い男性の立場からは嬉しい結果なのではないでしょうか。

労働力の点から見る！ 有効求人倍率 (H30年1月)

全 国	1.59倍 (-)
岐 阜 県	1.90倍 ↓
高山管内	1.33倍 ↓

高山北商工会本所

☎72-4130

☎丹生川 78-2002

☎上宝 86-2354